

メニューバーからは、安産ピラティスや沐浴、おむつ替えなどを紹介した動画を観ることも♪子どもの救急相談は必見!



メニューバー



便利なアプリの機能をご紹介します

予防接種の管理

誕生日と実際の接種日に応じて、次の最適接種時期を自動的に算出するので、医療機関へ予約をする時に役立ちます。

接種予定日が近付くと事前にプッシュ通知でお知らせ!忙しい毎日でも予定日を忘れず安心です。



子どもの成長を共有

お子さんの成長記録をアプリを通じて共有できます♪

パパやおじいちゃん・おばあちゃんも一緒に成長を見守ることが出来ます。



地域の情報収集

子育てに関する情報を見逃さない!

町のイベントなど、育児・生活情報が届きます。お住まいの地域周辺の病院など育児に欠かせない施設の検索もできます。



～編集後記～

特派員も上の子と下の子で予防接種の内容が変わり、とても混乱した経験があります。あのとき、こんな便利なものがあればなあ…。

それ以外にも便利な機能がたくさん!試しに、みなさんもちょっとのぞいてみませんか?

登録している子どもの年齢に合った情報が発信されるんです♪



←アプリ画面の一例

↓↓アプリのダウンロードはコチラから↓↓



または



母子モは外国語でのご利用も可能!英語・中国語・スペイン語など10ヶ国語に対応しています。

本サービスは Google 社のウェブサイト翻訳ツールを使用しています。Google 翻訳サービスをご利用の際は、Google の利用規約をご確認ください。



いながわ 特派員報告

アプリを味方に

すくすく子育て♪



7月より、子育てアプリ「すくすくいなっ子 (by 母子モ)」のサービスがスタートしました。皆さんの子育てにどのように役立てるのでしょうか?こども課の澤村さんにお話を伺ってきました。
▶問合せ こども課 (☎ 767-7477)



他にどんな機能があるんですか?
お子さんの定期健診や予防接種などのスケジュール管理が行えるほか、受診や接種の時期が近付くとお知らせが届きます。私も1歳の子がいますが届くので、アプリにお知らせが届くので、受診漏れなどを防ぐのにも便利です。また、まちの子育てに関する情報収集にも役立っていますよ。

子育てアプリ「すくすくいなっ子」とは、どういうものですか?
皆さんのお手持ちのスマートフォンなどで利用していただける「電子母子健康手帳アプリ」です。母子健康手帳と同様に、妊婦さんの体の変化の様子やお子さんの成長、健診の結果などを記録していただけます。



生活部こども課 澤村 桃子 主事

澤村さん、ありがとうございました!次ページではもう少し詳しくアプリの機能をご紹介します!



このアプリがあれば母子健康手帳は必要なくなるの?
そうではありません。母子健康手帳は医療機関などに記入してもらった項目などもあるので、予防接種や健診時などは必ず持参してください。アプリはサポートツールとして使ってくださいね。

赤ちゃんが生まれた後から利用するサービスなんですか?
母子健康手帳と同様に妊婦さんから使っていただけです。妊婦さんには、妊娠中の健康管理についてなど、妊娠や出産の情報をみていただくことができます。特に初産を控えた人などには、少しでも不安の解消に役立てていただけたらと思います。

赤ちゃんが生まれた後から利用するサービスなんですか?
母子健康手帳と同様に妊婦さんから使っていただけです。妊婦さんには、妊娠中の健康管理についてなど、妊娠や出産の情報をみていただくことができます。特に初産を控えた人などには、少しでも不安の解消に役立てていただけたらと思います。



ふもとにゆ〜す

オリジナルゲーム作りに挑戦!



▲ 8月20日、中央公民館で「夏休みこどもパソコン講座」を開催しました。この講座では、文部科学省が開発した子ども向けプログラミング作成サイト「プログラミン」を使い、ゲーム作りなどを通して、プログラムの基礎を体験しました。参加した子どもたちは自分で作ったオリジナルゲームで遊んだり、友だちと見せ合ったりと、楽しく学ぶ有意義な時間を過ごしました。

私たちも「認知症サポーター」!



▲ 7月25日、中央公民館で町キャラバン・メイトを講師に招き、「認知症キッズサポーター養成講座」を行いました。参加した小学生は、「認知症が誰にでも起こる脳の病気であること」、「認知症の人をみんなで支えるためにはどうしたらいいのか」を寸劇やクイズなどを通して学びました。講座の最後には、認知症サポーターの証「オレンジリング」を笑顔で受け取りました。

夏休みの貴重な体験



ゆうあいデイサービスの夏まつり

▲ 夏休み期間中、中・高生や大学生などが町内の様々な福祉施設でボランティアや福祉活動を行う「サマーボランティアスクール（町社会福祉協議会ボランティア活動センター主催）」が行われました。学生たちは、高齢者や障がいのある人などとふれあう貴重な体験を通して、多くのことを学ぶことができました。



入居者のサポート（グループホームせいふう）

高校生が企画した、楽しい1日



▶ 8月7日、猪名川高校で「猪名高サマーセミナー」が開催されました。当日は、町内の小学生66人が、高校生発案のゲームや工作などを楽しみました。高校生は、「教員や保育士の仕事に興味があるので、小学生とのふれあいを通して多くのことを学びました。一生懸命企画を考えたので、喜んでもらえて嬉しいです。」と話し、笑顔溢れるイベントとなりました。

夏の暑さにも負けない!



▲ 8月18日、猪名川小学校にて同小学校区まちづくり協議会主催「ミニトライアスロン大会～自分の限界にチャレンジしよう!～」が開催され、149人の小学生が参加。スイム・バイク・ランの3種目で競い合った子どもたちは、炎天下の中でも暑さに負けず、一生懸命ゴールを目指しました。

目の錯覚って不思議だね



▲ 8月17日、中央公民館で町子どもいきいきクラブによる、「夏の科学教室 アニメーションをつくろう!～視覚の不思議～」を行いました。参加した18人の子どもたちは目の錯覚を利用した絵や工作に興味津々。楽しみながら科学を学びました。



川の中で生き物たくさんみつけたよ♪



◀ 7月30日、ふるさと館で小学生対象の「夏休みこども水生生物観察会」を行いました。子どもたちは、猪名川の上流に生息するオイカワやアカザ、サワガニなど計24種類の水生生物を見つけ、名前を調べたり、水槽で観察をしました。子どもたちは、この活動を通して猪名川町の豊かな自然を感じる機会となりました。